

令和8年8月教育委員会会議（定例会）会議録

1 日 時 令和8年8月25日（火）午前10時00分～午前11時25分

2 場 所 市役所6階 604会議室

3 出席者〔教育長〕岩間健一

〔委 員〕平塚俊夫（教育長職務代理者）、村山こず恵、宮下広子、扇原淳

〔事務局〕池田淳教育総務部長、吉川誠学校教育部長、稲田里織教育総務部次長、伊東真吾学校教育部次長、市村浩昭教育施設担当参事兼教育施設課長、古田晃一文化財保護担当参事兼文化財保護課長、中村まさみ所沢図書館担当参事兼所沢図書館長、御菩薩池好行学校教育担当参事兼学校教育課長、渡辺純也保健給食担当参事兼保健給食課長、大庭真紀子教育センター担当参事兼教育センター所長兼視聴覚センター所長、川島一禎教育総務課長、小城原光貴教育総務課主幹兼教育企画室長、奥井祥三社会教育課長、藤井徹スポーツ振興課長、岩土陽裕学校教育課主幹兼健やか輝き支援室長、濱中紀寿学校教育課主幹、高鍋英彦教育センター主幹兼教育センター副所長、佐藤篤教育センター主幹兼教育デジタル推進室長、加藤法祥教育センター主幹兼教育センター教育相談室長、山田二郎教育総務課主任

〔書 記〕田畑貴史教育総務課主査、皆川博幸教育総務課主査

4 前回会議録の承認

5 会議の傍聴者 1名

6 開 会 本日の議題は、議案第25号から議案第29号の5件。

7 議 題

○議案第25号 令和8年度所沢市教育委員会の事務事業に関する点検評価報告書について

資料に則り、小城原教育総務課主幹から以下のとおり説明があった。

前回、7月の定例会でお示ししたものから、大きな変更はないが、3か所変更

した箇所があるため説明する。

30ページの「施策の内容と今後の方向性」において、下から4行目、「地域立」について、注釈を追記した。

次に、43ページの「生涯学習ボランティア人材バンク運営事業」の記述について、登録件数を102件から103件に訂正した。

最後に、54ページの「指標の達成状況」、上から4行目、「基本目標6 教育の質を高める環境の整備」「家庭教育関連事業への参加者数」について、公民館事業の参加者数を加えたため、「最新値（令和7年度末）」の数値を6,851人から10,443人に、達成率を56.6%から86.3%に修正している。

変更点は、以上である。

なお、今後については、本案の議決をいただいた後、来たる8月27日（木）開催の政策会議において各部局等へ報告し、9月1日（火）開会予定の令和8年第5回定例会議（9月市議会）に提出する。

また、所沢市のホームページにおいて市民の方に公表する。

以下、質疑

（宮下委員）

「指標の達成状況」について、「家庭教育関連事業への参加者数」と達成率の説明をもう一度お願いします。

（小城原教育総務課主幹）

7月の協議事項としてお諮りした際は、「家庭教育関連事業への参加者数」に公民館事業の参加者数が入っていなかったため6,851人でしたが、公民館事業の参加者数を加え、10,443人になっています。達成率は56.6%から86.3%に修正しています。

（岩間教育長）

昨年度までの点検評価で数値に含めていたものが、今年度が入っていなかったため、加えたということですか。

（奥井社会教育課長）

おっしゃるとおりです。

（村山委員）

55ページの「SNS等によるスポーツ情報の発信数」について、令和7年度

に年間292回で達成率が100%を超えていますが、令和10年度の目標値は年間240回となっています。現在よりも少ない回数ですが、これはどうしてこの目標値なのでしょう。

(藤井スポーツ振興課長)

大きな国際大会がある年度は突発的に回数が多くなるため、目標値は240回と設定しています。

※岩間教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

○議案第26号 所沢市社会教育委員の委嘱について

資料に則り、奥井社会教育課長から以下のとおり説明があった。

所沢市社会教育委員については、令和8年8月31日をもって任期満了となることから、新たな委員の委嘱について、お諮りするものである。

社会教育委員の職務だが、社会教育法第17条に基づき、社会教育に関する諸計画の立案や、教育委員会の諮問に応じて意見を述べることに、そのために必要な調査研究を行うことなどがある。また、所沢市社会教育委員条例により、委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、並びに学識経験者の中から委嘱することとなっている。

今回お諮りする委員は、委嘱者名簿のとおり17名である。

名簿の一番左の列に「区分」があり、上から順番に「学校教育関係者」から始まり、順に、社会教育、家庭教育、学識経験者と記載している。

一番右の欄「備考」には、各委員の在籍する団体名や活動内容を記載している。

今回は2名増員して17名となっているが、これは、令和8年度から、生涯学習推進センターの運営に関することについても、社会教育委員会議で審議していくこととしたことから、生涯学習に関する専門的な知見を有する委員を充実させたものである。

以下、質疑

(岩間教育長)

生涯学習に関する審議も含めることから増員したとのことですが、生涯学習を審議するにあたって加えた方はどなたでしょうか。

(奥井社会教育課長)

生涯学習を審議する上で、新たに委員をお願いするのは社会教育関係者の鈴木久美子氏と学識経験者の田中雅文氏、青山鉄兵氏です。

(村山委員)

元北秋津小学校区の北秋津ネットで活躍されていた方がいますが、この団体はどのような活動をされていたのでしょうか。

(奥井社会教育課長)

団体の活動について詳しく把握していませんが、小沢貞泰委員は入間地区の社会教育協議会でも活動をしており、社会教育のネットワークを活かして、調査研究をしています。

※岩間教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

○議案第27号 所沢市立所沢図書館協議会委員の任命について

資料に則り、中村所沢図書館担当参事から以下のとおり説明があった。

図書館協議会は、図書館法第14条第2項に基づき、図書館長の諮問に応じ、また意見を述べる機関である。

本市においては所沢市立所沢図書館設置条例第12条第2項の規定により、委員10名で組織されており、現在の委員の任期が、8月31日をもって満了となる。

図書館設置条例第12条第3項では、本図書館協議会委員は、教育委員会が任命するとあることから、議案書のとおり、新たな委員10名の任命について、本会議にお諮りをするものである。

新任委員の方は2名となり、秋田和人氏においては、あおぞら陽明保育園の園長をお務めで、保育に関する豊富な知識・経験を有する方であり、子どもたちの読書活動等についても、専門的な見地からのご意見をいただけるものと考えている。紫藤悦子氏においては、前飯能市立図書館長というご経歴で、行政職としての経験も豊富である。

このほか、再任の8名の方々についても、ご専門の分野において、それぞれに、ご活躍をされていらっしゃる。

以上、10名の方々については、いずれも、高い知識とご見識、豊かな経験をお持ちであることから、図書館協議会委員として、様々な分野や、お立場からの、

ご助言をいただけるものと考えている。

なお、女性委員の比率は50%で、任期については図書館設置条例第12条第4項に基づき、本年9月1日より、令和10年8月末日までの、2年とする。

以下、質疑

(宮下委員)

社会教育委員と同じ方がいて、委嘱年月日、任期が同じですが、途中で役職が変わり交代になることはあるのでしょうか。

(中村所沢図書館担当参事)

図書館協議会委員については、4月の人事で異動等された校長先生や大学の准教授の方について、7月の教育委員会会議でも審議いただきました。役職や勤務地等が変わられ、条件などが合わなくなった際は、推薦される校長会や大学から新たに推薦いただきお諮りしているため、2年間通してではなく、次の方に交代していただくこともあります。

(村山委員)

委員の構成で10名のうち5名が女性とありますが、割合の基準はあるのでしょうか。

(中村所沢図書館担当参事)

市の審議会では、4割以上は女性委員とするよう努めるとされています。

※岩間教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

○議案第28号 令和8年度所沢市学校運営協議会委員の任命について

資料に則り、御菩薩池学校教育担当参事から以下のとおり説明があった。

学校運営協議会の委員については、所沢市学校運営協議会規則第9条の規定に基づき、教育委員会が任命するものである。

学校運営協議会委員の任命については、これまでの定例会において随時ご承認いただいているが、各学校運営協議会において、委員の交代や新規推薦があった。その方々の学校運営協議会委員の任命について、本教育委員会会議に議案として提出させていただくものである。

新たな委員候補者については、別紙「学校運営協議会委員 新規任命について」をご覧ください。

以下、質疑

(岩間教育長)

委員の任命に直接は関係ありませんが、今年度の学校運営協議会の様子など事務局で把握していることがあれば伺います。

(御菩薩池学校教育担当参事)

1学期に各協議会において第1回の協議会を実施しています。その中で学校経営の基本方針や各学校の課題について話し合いが行われています。また、最近の取組として、三ヶ島中学校区では学校運営協議会が子どもの文化の祭典を三ヶ島中学校で開催しています。モルック体験のほか、体育館で子どもたちの発表が行われたと報告を受けています。また、椿峰小学校区では、夏休みに管理職だけでなく、学校職員と協議会委員が顔見知りになるため、教職員が参加して地域の教育資源について意見交換が行われたと報告を受けています。

(岩間教育長)

分かっている範囲で、今回新規任命の推薦があった4つの学校運営協議会の様子はどのような感じでしょうか。

(御菩薩池学校教育担当参事)

向陽中学校では、協議会の議題として、学校経営の基本方針について話し合いが行われました。また、学校と地域のこれからについて、今年度の取組について話し合ったとも報告を受けています。富岡小学校では、協議会が2回開催され、校区が広いため、学校の安全について、子どもたちの登下校について話し合ったと報告を受けています。

(岩間教育長)

説明の無かった2校からも報告は来ていますか。

(御菩薩池学校教育担当参事)

報告を受けています。

※岩間教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

○議案第29号 令和9年度使用特別支援学級用教科用図書の採択について

資料に則り、御菩薩池学校教育担当参事から以下のとおり説明があった。

「所沢市における教科用図書採択基本方針」に基づき、令和8年度使用特別支

援学級用教科用図書に関して、市内荒幡小学校、北小学校、南陵中学校の3校から、別紙のとおり「選定理由書」が提出された。

特別支援学級で使用する教科用図書については、学校教育法附則第9条の規定により、文部科学大臣による検定済教科書以外の「一般図書」を使用することができることとなっている。また、この「一般図書」については、特別支援学級に在籍する児童生徒の障害の状況及び発達の段階に適合した教科用図書を、毎年度採択することができることとなっている。

今回3校から提出された「選定理由書」をふまえ、教科用図書の採択について議決をお願いします。

なお、この3校以外については、「一般図書」利用の希望がなかったため、文部科学大臣による検定済教科書を使用することとなる。

以下、質疑

(平塚委員)

特別支援学級用教科用図書の選定について、荒幡小学校、北小学校、南陵中学校でそれぞれ教科用図書の選定委員会が設けられて、目的や内容等について適切に検討、運用がされているのでしょうか。

(御菩薩池学校教育担当参事)

各学校において、教科用図書選定の会議が行われ、今回教育委員会に審議の依頼が来ています。

(平塚委員)

荒幡小学校、北小学校、南陵中学校とありますが、荒幡小学校は大半が山口中学校に進学します。同じ校区内に荒幡小学校と南陵中学校のように特別支援学級があるとき、普段から連携や情報交換がされていると思いますが、教科用図書の選定についても情報交換や連携はされているのでしょうか。

(御菩薩池学校教育担当参事)

今回、南陵中学校で選定理由書が提出されている生徒については、荒幡小学校に在籍していた児童が南陵中学校に進学し、教科用図書についても一般図書を引き続き使用したいということで依頼が来ています。そういった形で小中学校が連携していると把握しています。

(平塚委員)

通常学級の教科用図書の採択で、学年間の目的や内容の系統性や連続性が大事なポイントになると思います。数学であれば、既習の事項が身につけていなければ次の段階が理解できないのと同じように、教科用図書の内容も系統性や連続性を意識して採択していると思います。この特別支援学級用教科用図書についても中を見ると同じ出版社だったり、下学年のものを使ったりしているため大丈夫だと思いますが、教科用図書の系統性や連続性にどの程度配慮されているか、事務局の把握している印象を伺います。

(御菩薩池学校教育担当参事)

おっしゃるとおり、教科用図書については原則文部科学省が認定している教科用図書を使用することになっています。それが難しい場合には、下学年の教科用図書を使用することになっています。さらに、個別の子どもたちに寄り添った教科用図書を使用する際に、一般図書を教科用図書として使用する場合があります。特別支援学級において、使用したドリルや一般図書と同じ系統のものを次の学年に進級した際も使うことにより、子どもにとって系統性のある学習となります。その視点も踏まえて、身近な一般図書を教科用図書として使用しています。

(平塚委員)

通常学級の教科用図書では系統性、連続性がありますが、特別支援学級では個人に応じた選定が最優先で、それが同時に系統性、連続性になっているということですか。

(御菩薩池学校教育担当参事)

そのとおりです。

(伊東学校教育部次長)

補足します。特別支援学級においては、一人一人の児童生徒の障害の状態や程度に応じた指導がされています。一人一人に応じた3年1ターンの個別の教育支援計画、1年ごとの個別の指導計画を作成しながら、系統性や連続性を踏まえて指導支援が行われています。その中で教科用図書あるいは教材をどのようにその子の支援に活用するかが大切になると思っており、その子の系統性、連続性を踏まえた支援を行うにあたって、今のタイミングでは教科用図書が良いのか、一般図書が良いのかという視点で選定されたものと考えています。

(村山委員)

選定理由を読むと、北小学校の国語で「視覚聴力の発達を促し、」「仲間分けしたグループ別に」と、とても具体的に、このイメージで、この発達を伸ばすために教材を使うことを丁寧に考えて選定されていると感じました。子ども一人一人を見る大切な視点のため、ぜひほかの学校でも教材を足すことによって個の力が伸びやすくなることが広がっていくと良いと思いました。

(宮下委員)

個人にあった教材を選定していることは分かりますが、新小学1年生はどのような状況か分からないと思います。その場合の教材はいつ準備するのでしょうか。

(御菩薩池学校教育担当参事)

新1年生が入学するにあたり、幼稚園・保育園等と事前の情報共有をしています。また、1年生は通常学級も含め、学校生活に慣れるところからスタートします。その中で教科用図書も使用していきませんが、教科用図書のほかにも、いろいろな教材を用いているため、主にそれらを活用しています。そして、子どもたちの実態が分かった段階で、例えば、2年生に進級するとき、適切な一般図書を教科用図書として依頼をしていると認識しています。

(岩間教育長)

幼稚園・保育園はもちろん、保護者とも連携して学校は子どもの状況をつかんでいます。

※岩間教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

8 報告事項

○所沢市教育委員会後援等名義使用許可について（教育総務課）

○所沢市教育委員会の8月から11月までの主な行事予定について（教育総務課）

○北野公園市民プールの利用状況について（スポーツ振興課）

○2026年日独スポーツ青少年同時交流事業の報告について（スポーツ振興課）

○2026所沢市スイミングフェスティバルの開催について（スポーツ振興課）

○第37回所沢シティマラソン大会の開催について（スポーツ振興課）

○第13回ところざわ星空フェスティバルの開催結果について（文化財保護課）

○令和8年度「トコロんのびのび塾」算数基礎学力向上プロジェクトについて

(学校教育課)

以下、質疑

(扇原委員)

北野公園市民プールについて、利用者が増えたことは良かったと思います。入場者数が多い日は2,864名ですが、プールはこの人数が入って安全対策上十分なのか、これ以上増えると安全対策上問題があるのか伺います。

(藤井スポーツ振興課長)

運営を受け持っている委託事業者を確認したところ、一気に800～1,000人が集中してしまうと、一時的に混乱が生じるため入場規制が必要ではないかとお話しされていましたが、1日を通して2,800人は十分収容可能であり、今年度の運営の中で入場規制をするケースはなく、安全に運営できています。

(扇原委員)

ところんのびのび塾について、多くの小学生やボランティアが参加して盛況に終わって良かったと思います。中学生のボランティアが79人参加していて素晴らしいと思いますが、中学生のボランティアの募集やサポートの状況はどのようなになっていたのでしょうか。

(御菩薩池学校教育担当参事)

中学生のボランティア参加については、各中学校にところんのびのび塾の周知を行い募集しました。参加した生徒の中には、小学生の時に参加し、中学生になってボランティアをしてくれた生徒もいます。丸つけ等のサポートについては、答えを事前に渡しており、算数の基礎基本の内容のため、中学生でも教えられる内容になっています。

(扇原委員)

中学生がボランティアに参加するのはすごく良いと思いますが、市内のボランティアに参加する際、ボランティアカードのようなものはありますか。

(御菩薩池学校教育担当参事)

中学生ボランティアについては、終了後に参加証明書を発行して学校に送付しています。

(扇原委員)

今回に限らず、ボランティアの参加は地域づくりの観点でも、市民の当事者意識の醸成に重要だと思うため、市内に限らず、ボランティアに参加している子ど

もたちが年間通じてどのくらい参加しているのか、分かるものがあれば良いと思いました。

（岩間教育長）

何か把握していることはありますか。

（伊東学校教育部長）

学校教育部所管のものについては、ある程度把握していますが、他課が行っている事業についての詳細は把握していません。

（岩間教育長）

ボランティアは教育委員会や公的機関でやっているものだけではありませんが、扇原委員はそういうものも把握して活かしたら良いということでしょうか。

（扇原委員）

子どもたちにとっては教育委員会のボランティアだから参加しているわけではないと思います。地域のボランティアに子どもたちが参加したときにボランティア手帳があれば、誰がどこに参加したか分かり、市内のどんな子どもたちが、どんなボランティアに参加しているか、どんな活動があるのかが把握できます。子どもたちが市内で教育資源に結びつき、学習活動・探究活動と結びついている活動であると保護者や学校の先生が把握できると良いと思います。それが義務になると大変ですが、子どもたちにとっては良いと思いました。

（平塚委員）

ボランティア活動について、県立高校の入試でボランティア活動をするとポイントになる制度が始まって、数年たっていますが、それがなくなる話があります。今年度からボランティアが減ってくるかと地域のお祭りの中学生ボランティアの様子を見ていましたが、あまり減る様子が無かったため安心しました。調査書のポイントになるかに関わらず、ボランティアを通して体験そのものが達成感になると思います。ボランティアでなくても夏休みにラジオ体操があり、体験そのものが地域への愛着につながり、所沢を愛する心、地域に根差していく子どもの育成につながると思います。ボランティアでなくても子どもたちの体験活動を充実させていく手立てを今後も工夫して進めていただけるとありがたいです。

（吉川学校教育部長）

以前は所沢市安全安心な学校と地域づくり推進事業において、地域行事への参

加として各学校で集計し、教育委員会で把握し、会議でも発表していました。私は当時、山口中学校にいましたが、荒幡富士清掃や所沢第二幼稚園へ多くの生徒が参加しており、各学校でかなりボランティアに参加していたと把握しています。ただいま委員から意見もいただいたため、これが必要かもう一度吟味していきます。

（宮下委員）

日独スポーツ青少年同時交流事業について、交換ではなく、受入れだけでしょうか。

（藤井スポーツ振興課長）

埼玉県スポーツ少年団の関係部署が開催しているもので、受入れだけでなく、埼玉県の子どもたちもドイツに行っています。受入先については、持ち回りで各市町村に来ますが、所沢市では3回目の受入れでした。

（宮下委員）

私の子どもも所沢高校に在籍していた際、フランスのオンブローザ高校と交換留学に行きました。その時は留学に行く生徒のいる家庭で受入れをしたため良い経験でした。若いうちから外国のことを知ったり、触れたり、交流をすることは大事なことだと思います。ところんのびのび塾について、まちづくりセンターではなく、身近な各小中学校で夏休み中に4日間やっていただけたらと思いますが、難しいでしょうか。また、星空フェスティバルについて、株式会社ビクセンが協力してくださっています。所沢市内には世界的にも有名な企業があるため、ぜひ協力していただき、所沢でしかできない経験をさせていただくことは良いと思いました。

（御菩薩池学校教育担当参事）

ところんのびのび塾について、以前は学校で夏休みに入ったとき各学校で算数の補習や水泳教室を行っていました。コロナ禍があり、一度そのような活動がなくなりましたが、教育委員会としてところんのびのび塾を11会場まで広げました。委員がおっしゃるように各学校での取組を以前はしていたため、子どもたちの学習についてどのようなことができるか引き続き教育委員会としても考えていきます。

（古田文化財保護担当参事）

星空フェスティバルについては株式会社ビクセンという市内の光学機器メーカーに多大なるご協力をいただきました。そのほか市内にある三ヶ島ペダルや村松フルートといった企業については、文化財保護課だけでなく、文化部門や市の関係部署が関わって取組を進めています。今後も引き続き、市内の企業と連携して官民連携で市の魅力をアピールしていきたいと思います。

（伊東学校教育部長）

村松フルートについては、スポーツ振興課と学校教育課で主催した部活動地域展開の実証事業であるエンジョイチャレンジデイで、昨年度と今年度ご協力いただき、講座を担っていただいています。引き続き市内での協力、連携を続けていきたいと考えています。

（岩間教育長）

学校の夏休み期間中の補習については学校でと意見がありましたが、こういった取組をすることで、学校以外の様々な方に教育に関わっていただくため、学校を越えての取組に意義があると思います。子どもたちも学校を越えて良い意味で交流ができるため、良い側面があると思っています。また、市内にある優れた事業所の活用については、各学校でも以前から連携しており、狭山ヶ丘中学校の校長をしていた時には、三ヶ島ペダルの社長に来ていただき、保護者の方も聞ける講演会を行っていただきました。美原中学校のときには村松フルートの社長に講演をいただきました。いろいろな学校でそういう取組もしており、教育委員会だけでなく、市長部局でも連携しています。星空フェスティバルについては、教育委員会主催で行っており、私も参加しました。丁寧に見て回りましたが、当日は参加者が多く、ブースも様々あるため、子どもや保護者が楽しそうに活動していました。天候が悪く星空観測はできませんでしたが、それに代わる準備もしていたため、多くの人が楽しんでいた良かったです。

9 その他

○今後の日程

- ・教育委員会会議 9 月定例会：9 月 2 8 日（月）
- ・教育委員会会議 1 0 月定例会：1 0 月 3 0 日（金）
- ・教育委員会会議 1 1 月定例会：1 1 月 2 0 日（金）

1 0 閉 会 午前 1 1 時 2 5 分